

## 【実践報告】順天堂大学シミュレーションセンターにて大学院医療通訳修士 2 年生が「蘇生研修」を実施しました

### 医療の最前線で「命を救う」実践力を磨く

2026年6月13日、順天堂大学大学院 医療通訳修士課程の2年生7名とコーディネーター2名が、病院実習の一環として「CPR（一次救命処置）」の演習に参加しました。会場となったのは、最先端の設備を備える順天堂大学メディカルテクノロジー&シミュレーションセンターです。当日はセンター常駐の高橋先生にご指導いただき、非常に濃密な研修となりました。

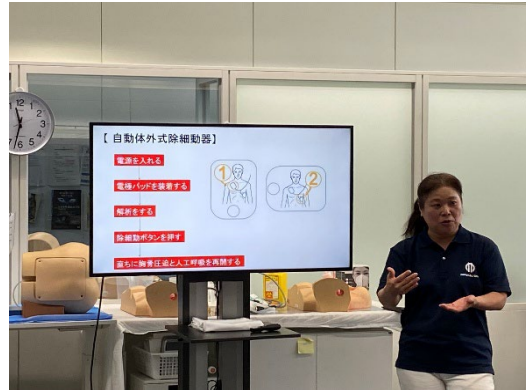
#### ■ 外国人患者の方が一に備える「実践的な理解」

今回の研修の目標は、「外国人患者の心肺蘇生ならびに AED による電気的除細動を安全に使用する方法」を体感、理解することです。

院生たちは、汗を拭いながら必死に胸骨圧迫（心臓マッサージ）を続け、高橋先生の一言一言に集中して耳を傾けていました。

#### 「万一の事態に直面した際、傷病者に対してどのように対応すべきか」

医療通訳者を志す院生たちにとって、単なる通訳技術の習得にとどまらず、チーム医療の一員として「命を救う」ための実践的な行動を学ぶ、極めて貴重な機会となりました。



#### ■ 順天堂ならではの、恵まれた教育環境

順天堂大学メディカルテクノロジー&シミュレーションセンターは、医学部生だけでなく院内外のすべての医療関係スタッフに向けて、個人のスキル向上やチームのトレーニングを行う先進的な教育環境を提供しています。

#### 【本コースの強み】

- **最先端設備の活用：** 院内の本格的なシミュレーション環境をダイレクトに利用可能
- **プロフェッショナルによる指導：** 現場を熟知した専門教員からの直接指導
- **現場に強い通訳者の育成：** 座学だけではなく、身体で覚えるリアルな実習

本医療通訳コースでは、このように恵まれた学内環境を最大限に活用したカリキュラムを組んでいます。今回の研修を通じて、院生たちは医療現場の「リアルな緊迫感」と「命の重み」を肌で感じることができました。このような素晴らしい環境で経験を積み重ねることで、院生たちが将来、医療現場で深く信頼される医療通訳者へと成長していくことを期待しています。